



海外駐在員事務所が伝える

グローバルの今

FFGでは、独自のネットワークを活かしてお客さまの海外ビジネスを総合サポートしています。

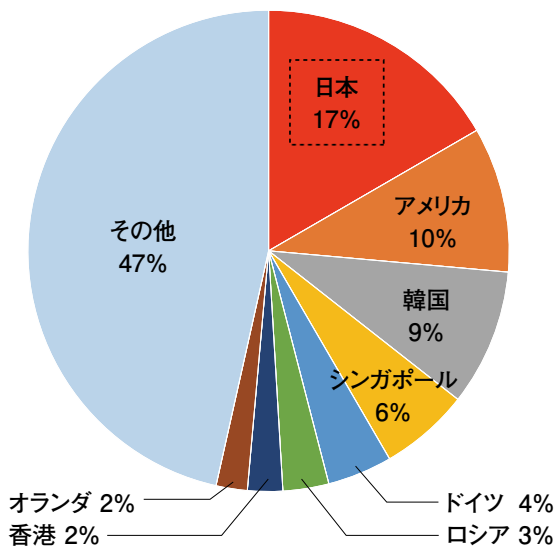
今回、大連駐在員事務所の益野所長に現地の情報やビジネスについて伺いました。

Question 1

現地の状況について
教えて下さい

A 遼寧省・大連市は中国東北部に位置し、中国内でも特に日本との経済関係が深く、遼寧省の輸出先は日本向けが全体の17%と最大の輸出相手国となっています（※1）。遼寧省は多くの製造業が集積する地域であり、木製家具の産地としても有名です。家具をはじめとした木材加工業の発展には、森林資源の豊富さ、安価なロシア産木材の入手環境、不凍港で水深のある大連港があり物流

※1 遼寧省の輸出相手国内訳（2022年）



出所：遼寧統計年鑑2023 ※輸出額のみ

Question 2

現地企業の声を
聞かせて下さい

A 中国各地に多くの協力工場を有し、日本向けに木材製品を中心に幅広い製品を輸出している「大連正峰商貿有限公司」総経理の江様にお話を伺いました。

インフラが整備されていることなどが寄与してきたと言われています。なお、現在は中国国内での木材伐採は禁止されています。

「現地企業の声」

私は日系の商社やハウスメーカーで日本企業のビジネスを経験したのち、その経験を活かし、ログハウス、家具、建材などの木材製品の取り扱いを中心とする貿易会社を設立しました。

中国の家具製造業者の特徴の1つは、現場作業員や職人の技術レベルが高く、他国に比べて生産能力が高いことです。弊社の協力会社で、日本の大手家具メーカー向けに中国や他のアジア地域で製造し、輸出している工場を例にしますと、設備、稼働時間、現場作業員の数の3つを同じ条件とした場合の生産能力は、中国工場の生産数を100とすると、他のアジア地域の工場ではその70〜80%程度のイメージで相応に開きがあり、最終的なコストや納期などにも影響があります。

弊社は、こうした技術力の高い中国の家具製造業者との強いつながりがありますので、是非お気軽にご相談下さい。

駐在員事務所の活動事例を紹介して下さい

A 大連は30年以上前から多くの日系企業が進出し、製造業を中心に発展してきた地域ですが、大連の製造業の強みは、熟練した職人が多いことを背景とした、生産能力、品質の高さにあるとの声をよく耳にします。こうした背景から、大連駐在員事務所では、新たな仕入先の検討に関するご相談をいただくことが多く、現地

Question 4

の製造業者や商社とのマッチング等のサポートをさせていただいています。

海外ビジネスを目指すお客さまへメッセージをお願いします

A 足元、中国においては、人件費をはじめとしたコスト上昇や、サプライチェーン分断リスクへの備えとして、中国から第三国へシフト

とする日系企業も見られます。一方で、日本企業の海外拠点数は中国が圧倒的に多く(※2)、中国に進出している日系企業の大半は、現在でも中国市場は重要な市場であると考えているようです(※3)。大連には仕入先の候補となる技術力の高い様々なジャンルの現地企業が数多くありますので、ご興味ございましたらお取引店にご相談下さい。



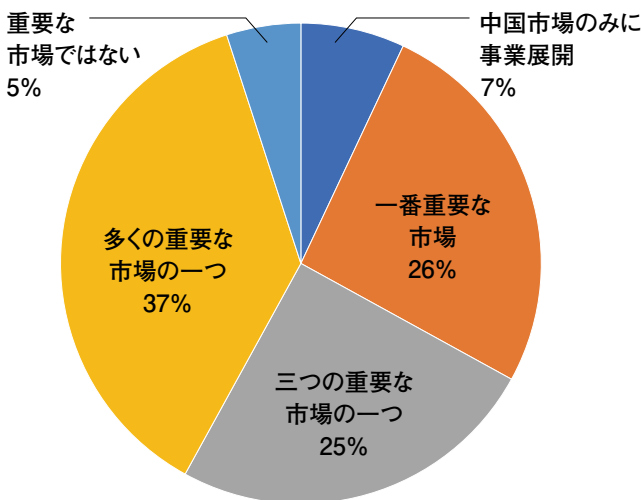
現地のおすすめや
過ごし方を
ご紹介下さい

※2 日系企業の国・地域別、海外拠点数(2022年)

順位	国・地域	拠点数
1	中国	31,324
2	アメリカ	8,673
3	タイ	5,856
4	インド	4,901
5	ベトナム	2,373
6	インドネシア	2,103
7	ドイツ	1,918
8	マレーシア	1,593
9	台湾	1,502
10	フィリピン	1,434

出所：外務省HP ※タイは2022年度の調査未実施のため、2021年の数値。

※3 進出日系企業の中国市場に対する考え方(2024年)



出所：中国日本商会 会員企業景気事業環境アンケート2024.1.15



※4 東方水城

大連には、イタリア・ヴェネチアをモデルに設計された「東方水城」という観光スポットがあります(※4)。ヴェネチアの街のように水路が張り巡らされており、中国にいなながらもヨーロッパの雰囲気を感じられる場所として、地元の家族、カップルや観光客に人気のスポットとなっています。春から夏にかけては気候の良い日が多く、カフェやビアガーデンで心地よい時間を過ごすことができます。